

平成30年度第2回宇陀市総合教育会議 議事録

開催日時：平成31年2月22日（金） 午前10時～午後0時16分	
開催場所：宇陀市役所3階 庁議室	
構成員出席者	高見省次宇陀市長 福田裕光教育長 岡本憲明教育委員 巽礼子教育委員 吉川壽一教育委員 峯畑忠郎教育委員
説明者	中西教育委員会事務局長 藤原総務課長 岡橋教育総務課長 萩岡教育総務課主幹 木下中央図書館長 太田主幹 太田主幹 小松原指導主事 鈴口指導主事
協議事項	1 学校教育の現状と課題について 2 読書活動の推進について
議事（発言内容等）	
市長	<p>おはようございます。本日、総合教育会議を開催しましたところ、教育委員会委員の皆様におかれましては、お忙しい中、ご出席を賜りましてありがとうございます。</p> <p>早速ですが、1月に小学校4年生の児童が親の虐待を受けて命を落とされるという悲しく痛ましい事件が起きました。宇陀市におきましても虐待の疑いのあるケースも出てきていまして、やはり報道等によると学校における保護者への対応、課題もあったのかなと感じています。日頃から教師の皆様がこういう状況を想定して、どの様に対応していくかを本市としても自分達のこととして考えていく必要があるかなと考えています。</p> <p>就任から9箇月になりますが、昨年6月に取組みの指示をしまして、1つはプログラミング教育、国を挙げての方向性ですので、宇陀市としてもできるだけ前倒しで進めていきたいというところで、教育長及び教育委員の皆様のご理解を頂きながら進めているところです。</p> <p>また、働きながら子どもと図書館で過ごしたいというご要望もあり、夏休みに図書館の開館時間の延長も試験的に実施したところです。一定の効果があったと思いますので、見直しながら次年度に繋げていきたいと考えています。こうした取組みにつきまして、多くの関係者のご理解を頂きながら進めておりますことに感謝を申し上げます。</p> <p>私は、就任前から地域の学力に関心がありまして、都市部に比べて偏差値も低いのかなと認識しております。それにつきましても、就任以降に教育長と相談しながら対応してきたところです。学力向上は重要なことですので、土曜塾等で地域において学力の向上を応援していくことも効果が高いと考えていますので、引き続き対応頂ければと思います。</p> <p>こども園の件は、後ほどお話をしますが、現状について忌憚のないご意見を頂ければと思いますので、どうぞ宜しくお願いいたします。</p> <p>それでは、次第の2の(1)学校教育の現状と課題について説明をお願いします。</p>
指導主事	<p><学校教育の現状と課題について説明></p> <p>宇陀市学校教育の指導方針 基礎学力を大切に「生きる力」と「夢」を育む教育の実現</p> <p>1 確かな学力の育成「知」</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成29年度・平成30年度の全国学力・学習状況調査等における宇陀市の子どもの学力実態とその課題への取組みについて <p>UDAスタンダードを中心として小中連携を進める中で推進（学校の取組（授業改善、自主学習習慣・読書習慣の定着）と教育委員会の支援）</p>

・英語教育、プログラミング教育、就学前教育の取組み

2 豊かな人間性の育成「徳」

・平成29年度・平成30年度の全国学力・学習状況調査における宇陀市の子どもたちの生活実態とその課題への取組みについて

すまいるネットワーク会議において学校支援を目的とする市の機関（通級指導教室ほほえみ、適応指導教室はばたき、教育相談、生徒指導巡回指導員、スクールカウンセラー、特別支援教育巡回指導員）が情報連携・行動連携をして対応

・就学前における生活習慣の定着への取組み、学校における出前授業（サイエンスラボ（JAXA学校教育支援事業））、中学生と乳児との交流体験等について

・宇陀市いじめ防止基本方針に基づくいじめ防止対策について

3 健やかな心身の育成「体」

・幼児の運動能力調査結果、全国体力・運動能力、運動習慣等調査における宇陀市の子どもたちの体力の実態とその向上の取組みについて

体力向上プランニングシートの作成、教員研修について

市長 ありがとうございます。

説明頂いた件につきまして、意見交換をしたいと思います。

岡本委員 子どもの学力面におきましては、UDAプランから始まった取組みの中で年々平均学力が上がっているなど感じました。また、本年度のUDAスタンダードの授業内容においても、学校訪問をさせて頂きますと、子ども達が真剣に先生の方を向いて取り組んでいる様子が十分伺えます。この様な中、結果として学力が上がってきているのではないかなと思います。小学校5年生が全国平均を下回っているという結果が出ていましたが、中学校になって全国平均並の学力になってきているというのは、小学校で学んだことを土台として中学校でステップアップしてくれているのではないかなと捉えて、今後、UDAスタンダードの中で授業を進めて頂ければと思います。

小学校のいじめの件数が176件と跳ね上がっていますが、スクールカウンセラーに努力して頂き、本人が悩んでいることを関係者が共通の認識で取り組んでいかなければ、この件数は少なくなっていくのかと思います。また、道徳授業が始まる中で、学年、学級のみならずこのような課題、いじめがあることを話し合って、小学校のいじめを少なくして欲しいと思います。

冒頭の市長のご挨拶にもありましたとおり、先日悲しい事件が起こったところです。みんなが道徳に取り組んでいたら、こういったことも少なくなっていくと思います。

巽委員 学校訪問をさせて頂いて、中学校の授業態度が年々落ち着いてきたと感じましたし、それが、結局、学力調査の結果にも繋がっていると思います。塾の力、家庭の力とか色々あると思いますが、教員数が少なくなっている中、学校全体ですごく頑張っているなと思います。

次に、いじめ問題はどこの市町村でも大きな課題だと思います。予防を考えないと行けないと思います。いじめの認知の幅が広がったということ、小学校、中学校の生徒に授業で説明していると思いますが、家庭の保護者の認知がどこまでできているのか、加害者になりやすい子どもの保護者と普段からどの様に連絡できているのかなと思います。市や行政、学校の問題だけではなく、保護者も責任を負わなければならない時代になっているので、そこを情報提供、研修していかなければならないと思います。学校で講演会をしても、来て欲しい親は来ないというのは分かっているのですが、子どもが加害者になることをもめるということを保護者にも加害者になった立場で考えて欲しいと思います。

市長	<p>学力面といじめに対するご指摘がありました。小学校のいじめが176件と急増した背景は認知ですが、今までそれだけの件数があっても認知されていなかった現実がありますので、そうした情報が出て来たということは良い事ですが、積極的な対応が必要だと思います。また、それだけの人材確保への対応、重大事態の認定がしっかりできるのか、それと、いじめは絶対にいけないという意識の低さが出ていたわけですので、規律を守るとか、保護者への情報提供が大切なのかなと思います。これらについて、事務局から何かありますか。</p>
教育総務課長	<p>いじめに関してはアンケート結果からも大きな課題と捉えております。9月の宇陀市議会でいじめに関する条例も制定して頂きましたので、3月1日に法務局や警察等の外部の組織に入って頂いていますいじめ防止推進協議会において宇陀市のいじめ防止について積極的な取り組みができないかという話し合いを持つ予定をしています。その結果につきましては、ホームページ等を通じて市民に発信していきたいと思っております。</p> <p>また、重大事態の認知については、法的にも学校長が判断していくこととなります。研修等を通して、どの様なことが重大事態なのか、その捉え方をもう一度きちんと学校に伝えていきたいと思っています。</p>
教育長	<p>現場の課題は、来て欲しい保護者や課題のある子に対しての手立てを関係機関と一緒にどのように対応していくかが課題であって、改善に至る手立ては根気よくやっていくことが大事かと思っています。今年度から生徒指導巡回指導員に各学校に在中して頂いて、各学校で指導しにくい子どもに、親も含めてどの様な流れで対応していったら良いかを現場で指揮して頂いています。校長先生も、具体的な話であればカウンセラーの話の聞くことはできますが、マネジメントという視点でどの用に采配していけば良いかについては役に立っているとの事です。</p> <p>今年度ステップアップ訪問として、教育委員の皆様にも11月に2回学校訪問をして頂き、4月当初の学校の様子や、体育大会、文化祭が終わった後の子ども達の様子を見て頂いて、3月末には管理職の個人面談のヒアリングをして頂いています。学校現場でも子ども達の様子をより理解して頂けるということでありがたいとの事です。</p>
吉川委員	<p>いじめの疑いではなく、いじめがあった件数、暴力行為があった件数として挙がってきて、実際に起きている事が把握できているのであれば、的確な指導、迅速な対応のために情報共有が大事で、どの様な行為があったのかを把握して事案が重大化しない対応を取るように日頃から調査研究しておく必要があるのかなと思います。いじめが増えてきたことは、生徒もいじめの定義が分かってきたのだと思いますので、いじめを認識してきたことは良いことだと思います。今後は、いじめの件数が減る様な対応が必要かなと思います。</p> <p>学校教育のことで、中学校の高学年になると学力が全国平均レベルになってきているのでありがたいなと思いますが、小学校では難しいのかなと思います。中学校の学力が重視されますので、中学校の高学年の学力が奈良県平均、全国平均に近づき、上回るように頑張りたいと思います。</p>
市長	<p>小学校では算数・国語の傾向が出ていますが、その辺りの取組みについては何かございますか。</p>
教育総務課長	<p>現在のところ、各校で結果をしっかりと把握して頂いていますので、それに向けた取組みについては各校に任せています。</p>
教育長	<p>4月、12月の各校の実態調査で、4月当初に好きだった、12月当初に好きだったという内容を各校ごとにデータを分析しています。4月と12月を比べると上がっているところが増えてきています。算数につきましては、就学前の遊びや褒めてもらうことが大事</p>

	<p>であって、モデル校3校としまして菟田野小学校、室生小学校、榛原小学校の低学年を中心に、放課後に1時間程度子ども支援をしています。これが定着していて、来年度にも繋がっています。放課後を活用して頂いて、地域の人材にもご協力を頂きながら、子ども達の学力補充をしていきたいと考えています。</p>
市長	<p>異委員から教師が大変になってきているというお話がありましたが、部活動の負担とか、教師の負担の軽減、人材確保については、いかがでしょうか。</p>
教育総務課長	<p>部活動につきましては、今年度から国の政策から部活動指導員を取り入れて、子ども達と少しでも向き合う時間を取れるようにしています。来年度から全校配置させて頂き、榛原中学校は2人、他は1人配置していく予定で、先生方の負担も少し減るのかなと思っています。</p> <p>また、働き方改革として、2月に宇陀市教育委員会から保護者向けに学校としても働き方改革を進めていく旨の配布物を配布しています。18時以降、緊急の場合を除き電話を控えて頂きたい旨の協力依頼を掲載させて頂いたところです。</p> <p>働き方に関する中央教育委員会からの答申とか、超過勤務に関するガイドラインが出てきましたので、その中にも市としての指針を持つことと記載されていますので、来年度以降、そちらについても検討していくところです。</p>
市長	<p>虐待について、本人からSOSがあつて、体にあざがありましたとした場合、保護者に確認して、説明と違った場合、警察とか児童相談所と連携して対応していくところがあると思いますが、最終的に虐待だと認定して親と引き離す権限、責任はどこにあるのでしょうか。</p>
教育委員会事務局長	<p>各市町村に要保護児童対策地域協議会がありまして、本市におきましてはこども未来課に事務局がございます。各学校から児童相談連絡書を毎月こども未来課の事務局に頂いています。それにより、気になる子どもについて教育委員会とこども未来課で情報共有し、虐待の事象があった場合は、学校からその事象につきまして連絡を頂き、要保護児童対策地域協議会と教育委員会の職員が学校に出向きまして、子どもの確認と家庭状況の確認をします。緊急の場合は、ケース会議を開き、リスクの判断をしまして、重度となれば要保護児童対策地域協議会が児童相談所に連絡しまして、児童相談所が子どもの状況を確認して一時保護することになります。その判断につきましては、要保護児童対策地域協議会が判断、決定します。</p>
市長	<p>一時保護の最終責任はどこにあるのでしょうか。市ですか、児童相談所ですか、警察ですか。</p>
教育委員会事務局長	<p>一時保護については、奈良県の児童相談所が決定されます。一時保護をしました場合は、保護者からの連絡が学校や教育委員会にかかってくると思いますが、このことについては、児童相談所へ連絡くださいと申し上げます。</p>
市長	<p>一時保護が遅れて命を落とされる場合は、児童相談所が一時保護されなかったときは、市に責任はないということでしょうか。</p>
教育委員会事務局長	<p>法律の中で要保護児童対策地域協議会は虐待の事象があればすぐに通報しなければならないとされていますので、要保護児童対策地域協議会の最初の判断が重大になると認識しています。</p>
市長	<p>宇陀市要保護児童対策地域協議会の会長は市長ですか。</p>
教育委員会事務局長	<p>そうです。</p>

巽委員	実際に現場の先生が、家庭なり、子どもを知っておられるので、例え一時保護されても、その家から目を離してはいけないと思います。定期的な家庭訪問なり、子どもの顔が見れるように、現場の先生が窓口にならなければならないと思います。
市長	もちろん情報共有が必要ですが、判断が遅れては命に関わりますので、宇陀市要保護児童対策地域協議会ということですので、私の判断の基になるのは教育委員会の幹部ですから、皆さんが判断するぐらいの気持ちでやって欲しいと思います。
吉川委員	小学校の不登校が平成29年度で12名いらっしゃいますが、定期的に面会に行つてコンタクトを取っているのでしょうか。テレビでは保護者が子どもに会わせないので重大な事案になったということもありますが、宇陀市ではどのような対応を行っているのでしょうか。
指導主事	不登校の児童生徒につきましては、学校が週1回は家庭訪問を実施して、子どもや保護者とコンタクトを取っています。3日休んだら4日目から心配ということで、3日休んだら家庭訪問をして、初期の対応をしています。 保護者の考え方等がありまして、学校に足を向けられない子ども達にも、月1回は最低様子を見ています。
吉川委員	訪問しても子どもと会わせてくれないというのが一番困ります。
教育総務課長	要保護児童対策地域協議会でも子ども未来課が相談員と一緒に訪問して頂いています。また、生徒指導巡回指導員も同行して頂いたり、2課連携しながら行っています。
峯畑委員	いじめのことですが、今までもこれぐらいの認知件数はあったと思います。外部への相談とかに出ていないということは、宇陀市の教育の成果ではないかなと思います。例えば、法務局が行っているSOSミニレターで宇陀市の件数は非常に少ないです。学校の内部で対応できていると思います。担任との結び付き、担任がいかにいじめを把握できているか、養護教諭、保健室がうまく機能しているのではないかなと思います。それと、家庭の状況等も出ますので、担任等に話しをするということでもうまくいっているから学校の内部で収まっているように思います。ただ、課題としましては、教師の時間的な余裕がなくなるとそれを見過ごしてしまうので、そこは十分守っていかなければならないかなと思っています。 それから、指導力ということでは、教師の力は付いてきていると思います。例えば、菟田野中学校で北京大学の師範学校の附属小学校、中学校と交流をして頂いたのですが、国語の先生が、英語で国語の授業をされていました。非常に驚きました。先生にはしっかりとした力量があって、それをUDAスタンダードで上げて頂く形ができていることは、長い目で見れば、市全体の学力向上に繋がっていくと思っています。 それと、JAXA、ALT等の外部の力を取り入れていきながら、子どもの学習への意欲に繋げて頂きたいと思います。その事が、中学生の学力向上の役割を担っているのではないかなと思います。ただ、課題として授業時間数の確保が難しくなります。県内の他の市町村でやっているように、夏休み1週間を短縮するなどという方法もあるかなと感じます。
教育長	課題も多いと思いますが、宇陀市の教育も良いところがあるなと感じています。 奈良市では1週間前倒しで開始するという条例改正をされて、波紋が広がっていますが、本市でも夏休みの中で3日間全校登校日を創って、各校の工夫でそれらの日を夏休みの終わりに固めて、行事的な内容を済ましたり、あるいは宿題提出が9月1日では授業に影響を及ぼすということで、その宿題を早めに提出して1日から授業がスタートできるようにしたりとか、エアコンのこととかを検討してきました。今年度、授業日数の確保も検

	<p>討しながら、先生方の会議の時間や研修の時間をどこで確保するのか、他市の事例も参考にしながら、また、ご意見を伺いながら進めていきたいと思ひます。</p> <p>UDAスタンダードについてはご理解頂きありがとうございます。</p>
岡本委員	<p>資料からも宇陀市の中学生の学力が上がってきているのが分かりますが、学力が上がってきた子ども達も宇陀市ではなく他の高校に行ってしまうという悲しい現状があります。学力の上ってきた中学生が地元の高校に行きたいなという思いになれるような魅力ある高校作りをして頂けないかを伝えて頂ければと思ひます。</p>
教育長	<p>ご存じのとおり、再編が進み、榛生昇陽高校と大宇陀高校が2023年に宇陀高校としてスタートします。宇陀高校のイメージを創られているところですが、総合学科の中で福祉課、IT、保育、幼稚園教諭のコースも設置される予定ということで、その様な高校生が宇陀市で働いてもらえるように、また、プログラミング教育の中で高校生が小中学校の授業に入って指導助手をして頂けるような形であったり、アプリ開発による観光の分野で全国発信して、宇陀市のコマーシャルをしてくれるとか、あるいはプロジェクトマッピングで魅力発信をして頂けるとか、出口保障も積極的に連携しながら、県教委とも連携しながら、夢ある宇陀市として教育委員会からも迫って行けたらなと感じています。</p>
市長	<p>奈良県の意向としましても地元中学校の卒業生が地元の高校に入ることを柱としているので、奈良県との話合いも進めていきたいと思ひます。高校は奈良県の学校ですが、市にある大事な財産ですので、市としてどのように応援していくのかを考えていきたいと思ひます。</p> <p>すまいるネットワークで連携して情報共有して個別に対応しているということですが、その事について、利用できる方、利用したい方への広報を充実して欲しいと思ひます。その辺りはいかがでしょうか。</p>
教育総務課長	<p>それぞれの諸機関で広報、ホームページ等により周知しております。また、諸機関からの広報誌も作成して頂き、各学校に配布して頂いておりますので、そのことも踏まえて検討して頂きたいと思ひます。</p>
市長	<p>別々にされていると分かりにくいので、資料の様なイメージを持ってもらいやすい様に一体としたものを検討してください。</p>
教育長	<p>奈良県において特別支援の事例発表があったのですが、宇陀市のすまいるネットワークの発表は好評で、先進的なモデルとして他団体からもお問い合わせを頂いています。</p>
市長	<p>ぜひ、住民の皆さんにもお知らせ頂けたらと思ひます。他にご意見はありますか。</p>
教育総務課長	<p>宇陀市教育大綱に係る事業実施報告としまして、現状と課題をまとめた資料がございますので、後ほどご覧頂ければと思ひます。</p>
市長	<p>宇陀市教育大綱については平成31年度までとなりますので、平成31年度に引き続きご意見、ご協力をお願いいたします。</p>
市長	<p>では、協議事項(2)の読書活動の推進につきまして、説明をお願いします。</p>
中央図書館館長	<p><読書活動の推進について説明></p> <p>平成30年度奈良県子ども読書活動推進フォーラム報告資料より説明</p> <ul style="list-style-type: none"> ・赤ちゃん期から絵本を楽しんでもらうための取組みについて ・おはなし会について ・幼稚園、保育所、こども園、小・中・高校との連携について ・図書館の取組みについて ・図書館の課題と展望について <p>図書館が遠い子どもにも本を届ける方法、保護者への子ども読書の重要性の周知</p>

市長	<p>それでは、この件につきましてご意見を申し上げます。</p> <p>奈良県の教育サミットに参加しまして、本を読む子どもと本を全く読まない子どもでは学力の差が出ていることが明らかになってきていますので、本を読むとまた違う脳の働きがあったりするのかなと思います。</p>
吉川委員	<p>読書は学力向上には大事なもので、読書の習慣付けを一緒になって進めて行きたいなと思います。1つだけ、キラキラタイムの説明がありましたが、各小学校にもこの時間を取って頂くことはできないのでしょうか。</p>
中央図書館長	<p>各小学校には、図書館を起点としているボランティアの方々がお話、本を届けて頂いています。昨年10月から開始しましたキラキラタイムについては、ボランティアの方のみをお願いするのではなく、図書館職員が出てということでしたので、まずは近くの小学校から始めています。今回、試験的に始めていますキラキラタイムについては、できる限り拡げていきたいと考えています。</p>
吉川委員	<p>職員が行って、子ども達の様子を見て頂くことで、今後の読書の取組みの参考にもなるのではないかなと考えますので、また検討してください。</p>
岡本委員	<p>本を読むことで、個人の語彙力が上がると、社会人になってこういった場で発表することも含めて、読書が大事であることを学校と連携して頂きますようご尽力をお願いします。</p>
峯畑委員	<p>お話の会ですが、ボランティアの方々もやりがいを持って頂いていると思います。ボランティアの方々へ新書が入った等の図書に関する情報提供をして頂くことによって、もっとやりがいを持って幅広く続けてもらえるのかなと思います。</p>
市長	<p>ボランティアの方々もお話会等を頑張ってもらって頂いて頂いて、お話会の参加者も多いので、そこに向けて連携して頂きたいと思います。</p>
中央図書館長	<p>平成30年度より、ボランティアの方々とは図書館とでボランティアネットワーク会議を開催しまして、協力して「この本読んで」という冊子を作成しました。</p> <p>お話の部屋についても、ボランティアの方々を利用して頂き、お話会の練習の場の提供でしたり、また、図書に関する知識は我々よりお持ちですので、密に連携しているところであります。</p>
巽委員	<p>都市部の図書館は大きすぎて本と触れあう機会がないと聞きます。宇陀市の図書館では、どんな本が良いですかと聞いてもらえるとすごく喜ばれています。小さい間に良い本と出会いたいという気持ちは大人も持っていると思います。絵本と触れあうことが大事だということを保護者にも知ってもらうことが大事だと思います。8園と連携しているということで、その中には民間の保育所を入れて頂いているのはすごくうれしかったですし、保護者との連携を大事にして頂いているなと感じます。</p> <p>課題にもあるとおり、図書館へ歩いていけないというのは宇陀市の課題かなと思います。図書館の中で司書が頑張って頂いても、子ども達が実際に図書館に来て選ぶという機会が持てないというのは、課題かなと思います。それぞれの小学校や中学校の図書館教育にかなり委ねられるのかなと思いますので、新書が出ましたらどういう内容の本かを付けて、学校に届けて頂くことにより、子ども達も選ぶ力が付くのかなと思います。</p>
市長	<p>働いている保護者が帰宅して子どもと一緒に図書館に来れるように図書館の時間を延長させて頂いたところですが、また、ITを含めた取組みも考えて頂いていると思いますので、その現状についてご説明頂けますか。</p>
中央図書館長	<p>仕事を終えて後の図書館の利用ということで、昨年8月から10月まで、試験的に5時から8時までの3時間、開館時間を延長させていただきました。この結果、5時から6時</p>

	<p>までの1時間の利用が多かったということで、予算は確定していませんが、予定としまして、平成31年度は5時から6時までの1時間の延長を1月につき1週間実施しまして、月ごとの課題を見つけて、子ども達に発進していきたいと思っています。</p> <p>また、ITを含めまして、図書館システムと学校図書システムの更新が同時期になりますので、学校図書システムから市立図書館の蔵書を検索して頂くことが可能になります。学校から検索し、予約して頂きましたら、学校に本を届けることが可能になるサービスも考えているところです。</p>
市長	<p>うだチャンを通じて、新書の情報提供や本の読み聞かせ番組があってもいいかなと思います。子ども達が本に慣れ親しんで、自分で選んで読んでくれたらうれしいなと思います。</p> <p>図書館の環境の話もありましたが、この点については、いかがでしょうか。</p>
巽委員	<p>これからは、図書館もコーヒーショップと合体したり、ショッピングモールの中にあつたりと、地域に合った図書館を考えていかなければならないと思います。</p>
教育長	<p>魅力ある図書館づくりを基本に据えて、くつろげたり、退職された世代の方々の学習の場になったり、また、蔵書の中身を精査して、図書館機能の充実をしていくことが、子ども達が行きやすくなることに繋がると思いますし、調べる学習コンクールで賞を頂いているので、図書館がきっかけづくりになれば良いなと思います。</p>
吉川委員	<p>保護者が図書館を利用する手立て、何らかの会議をする等、保護者が子どもを連れていく方法を考えて頂けたら、おのずと利用も上がるのではないかなと思います。</p>
市長	<p>ありがとうございます。今後の課題として図書館の環境整備を行って頂ければと思います。他にございますか。</p>
総務課長	<p>今回の開催時期につきまして総務課長から説明をお願いします。</p> <p>今回の開催時期につきましては、未定とさせて頂いております。改めて日程調整をさせて頂きます。</p> <p>また、現行の宇陀市教育大綱につきましては平成31年度までとなりますので、次年度については宇陀市教育大綱の見直しにつきまして宜しくお願いします。</p>
市長	<p>その他がございました。失礼いたしました。</p> <p>その他としまして、(仮称)菟田野こども園について説明をさせて頂きます。当初、平成32年4月の開園に向けて進めてまいりましたが、就任後、担当者から現在の状況の説明を受けまして、大きく2つの課題があると認識しました。1つ目は費用面です。2つ目は安全面です。関係者を含めた十分な理解を得られていないと認識しまして、その2点について改善するように指示を出しました。結果としまして、10月末に小学校の敷地内に建設することを決定しまして、警察の専門の方にも安全面の確認をして頂いたところです。しかしながら、この間に日程の遅れが出まして当初予定の開園が現時点で難しい状況になっております。このことにつきましては、大変申し訳なく思っております。</p> <p>詳しいスケジュールにつきましては、次の教育委員会で説明をさせて頂きます。来年4月の新園舎での開園が難しくなっていることをこの場をお借りしましてお詫びを申し上げたいと思っています。誠に申し訳ございませんでした。</p> <p>子ども達のために今の状況の中でどういった方法が一番良いのかを担当の方でしっかりと考えながら、お示ししたいと思っていますので、宜しくお願いいたします。</p>
巽委員	<p>これは地域の方、保護者もご承知ですか。</p>
市長	<p>建設推進会議の場で説明をさせて頂きまして、お詫びも含めて関係者への説明が必要だと考えておりますので、現在調整させて頂いております。</p>
吉川委員	<p>開園の時期は4月には無理ということですか。</p>

市長	そうです。一定の目標時期は持っておりますが、それはまた説明させていただきます。
岡本委員	平成32年4月開園ということで、保護者、子ども達もそれを目処に色々な方々が調整されてきたので、費用面、安全面もよく分かりますが、なぜ半年でも早く決断をされなかったのかなと疑問に思います。ここにいる全員ができるだけ協力して、開園に向けてもう一度努力して頂けないかなと思います。4月の開園が難しいから時期をずらそうでは、多くの方が、子ども達が4月の春の桜の時期に仮称) 菟田野こども園に入園できるということを夢に描いている中で、それを裏切るというのは悲しいだけでは済まない部分があると思いますので、時間的に無理だと言い切らずに、なんとか開園に向けてお願いしたいと思います。
市長	ありがとうございます。保護者、子ども達が期待されていたということは申し訳なく思っておりますが、現時点では4月開園が難しいという状況を申し上げないといけない時期に来ておりますので、その中で行政としてできることを最大限に考え、皆さんの残念な思いに答えていけるように頑張りたいと思います。
吉川委員	ここで決めないと4月1日に間に合わないという時期があったと思います。その時点で我々にも情報が欲しかったなと思います。保護者や地域の方に、経緯の説明としこりを残さないような対応をして頂いて、開園の準備をして頂きますようお願いいたします。我々も協力しますので。
教育長	教育委員会制度が新しくなって、市長と教育委員会が中立的な立場で進めて行くために総合教育会議が開かれています。前回の8月2日のときに、市長が見直しを図りたいということをおっしゃられて、この1回目の接点のときに、具体性や、教育委員会としてはどうですかという意見のやりとりがあって次に進めていたら、市長がお考えのイメージと教育委員の皆様のイメージとの摺り合わせももっとうまくできたのかなと思います。私も反省をしているところです。
巽委員	これから、就学前の課題や、学校の適正化の課題もありますし、中立性を担保しながら、お互いが留保し合って解決策を見出して進めていけたらなと考えております。
市長	こども園の建設を決めて頂いたので、色々な考え方の方がいらっしゃいますが、しこりが残らないように、前向きに進めて頂けたらなと思います。
市長	ありがとうございました。総合教育会議の中での摺り合わせも改善していきたいと思えます。
	大変長時間にわたりまして熱心にご協議を頂きましてありがとうございました。